

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み

	総合戦略事業名	事業担当課名	ページ
1	エコノミックガーデニング推進事業	産業振興課	1
2	観光推進事業	産業振興課	4
3	タウンセールス推進事業	広報戦略課	6
4	結婚・出産・子育て環境整備事業	子育て支援課	8
5	家庭教育推進事業	教育総務課	12
6	学力向上推進事業	学校教育課	14
7	子育て応援環境整備事業	協働文化推進課	16
8	安心なまちづくり整備事業	町民安全課	18
9	若者参画推進事業	協働文化推進課	20
10	公共交通環境整備事業	都市計画課	22

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	エコノミックガーデニング推進事業(企業総合支援事業・創業支援事業)		
戦略事業責任者	環境経済部長	作成責任者 産業振興課長	作成年月日 平成29年5月9日
担当部課名	環境経済部産業振興課		
基本目標	基本目標1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます		
施策名	施策1 きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進		
目指すべき基本的方向	○地域経済の活性化に向け、本町に立地する企業の操業環境や経営課題などを把握し、的確な支援ができる体制を構築します。 地域の魅力を高め、多様な人材の流入を確保するため、新たなビジネスの創出や創業者を支援する環境を整備します。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		60,304,600			
	決算(見込)額		53,262,715			

KPI (重要業績評価指標)	支援メニュー利用数 (件)	基準値	実績値				
		H24~26平均	H27	H28	H29	H30	H31
		74	139	163			
		目標値	100	105	115	125	130
	販路拡大支援数 (件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		2	1	12			
		目標値	3	8	10	10	12
	新規事業所届出数 (件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		63	63	61			
		目標値	63	65	70	75	80
	創業に関する支援数 (件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		1	1	31			
		目標値	6	6	6	7	7

交付金に係るKPI	創業支援による創業数 (件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		1	0	3			
		目標値	1	1	6	6	6
	自動化・省人化セミナー 参加者数(人)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		—	—	26			
		目標値	—	15	—	40	60
	産業ロボット導入支援 数(件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		—	—	0			
		目標値	—	—	—	—	5
	産業ロボット導入数 (台)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		—	—	0			
		目標値	—	—	—	—	3

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要		
	商工業支援プログラム推進事業	<p>・産業振興課内に経営等に関し専門的な知識を有する中小企業診断士3名を「寒川町地域経済コンシェルジュ」として委嘱し、職員とともに町内製造業を中心に企業訪問を行い、企業の事業内容や課題等をまとめた企業カルテを作成し、課題に対する支援制度の企画等を検討した。また、中小企業向けの支援制度を検討した。</p> <p>・生産性向上に伴う自動化・省人化の考え方や自動化のための改善など基礎的知識やものづくり企業の中堅技術者向けにロボットを活用した生産コスト削減事例や最新ロボットによる自動化への取り組み動向など導入事例を内容とした自動化・省人化支援セミナーを実施した。</p> <p>・町内企業(製造業・小売業)の海外・国内展開を視野に入れた販路拡大の支援を図ることを目的にインターネットを使った海外(国内)販売や海外展示会の現状と出展に対するアドバイスを内容とした販路拡大支援セミナーを実施した。</p>		
		60,305,000	決算(見込)額	52,825,912
	企業立地促進事業	<p>・中小企業診断士による創業相談窓口を設置し町HP及び広報掲示板にパンフレットを掲載した。</p> <p>・創業希望者及び創業後の相談希望者の発掘を目的として寒川創業支援セミナーを実施した。</p> <p>・地域で連携し創業しやすい環境を整えるため、町産業振興課内と町内信用金庫と日本政策金融公庫の窓口創業相談窓口を設置し、町・平塚信用金庫・湘南信用金庫の窓口支援を特定創業支援事業とした寒川町創業支援事業計画の変更申請を行い、12月26日付けで認定された。</p> <p>・寒川町創業支援事業計画に伴う特定創業支援事業修了希望者のため、経営・財務・販路開拓・人材育成の知識習得を目的とした「創業支援セミナー」を4回実施した。</p> <p>・創業者及び創業希望者への支援策を検討した。</p>		
		予算額	937,000	決算(見込)額

取り組みの検証/内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	<p>・産業振興課に企業支援担当を設置し、地域経済コンシェルジュを委嘱したことに伴い、様々な事業が実施出来、企業訪問では企業へ出向き、町の取り組みや支援制度を周知したことにより、支援メニュー利用数や販路拡大支援数が増加したことが考えられる。</p> <p>・創業支援については、町に創業相談窓口を設置し、国等の支援制度が利用することが可能となる特定創業支援事業を行えるよう寒川町創業支援事業計画を変更したことから、創業に関する支援数が増えたことが考えられる。</p> <p>・新規事業所届出数としては、企業等が立地出来る広い場所が確保出来ないことから、新規事業所の届出数が目標に達成しなかったことが考えられる。</p>
取り組みの成果	<p>・町が企業支援担当を設置し、地域経済コンシェルジュとともに支援活動を始めたことを周知することが出来た。</p> <p>・企業訪問を実施した結果、企業における課題を掘り起こすことが出来た。</p> <p>・セミナーについては関心を示す企業が多かった。</p> <p>・基礎調査を実施した企業のうち寒川町内に本社機能をもつ中小企業62社のうち33企業の経営者が60歳以上であったため、事業継承に関する課題を把握出来た。</p> <p>・寒川町創業支援事業計画の変更案が国に認定されたことに伴い、創業希望者が相談しやすい環境を整備することが出来た。</p> <p>・町、商工会、金融機関(湘南信用金庫・平塚信用金庫・日本政策金融公庫)で構成する創業支援ネットワーク連絡会を発足することが出来た。</p>
取り組みの課題	<p>・雇用や人材育成及び販路拡大等に関し、問題を抱えている企業が多いということが調査結果により判明した。</p> <p>・問題等があると思われるが、業務が多忙なため企業相談までに繋がらない場合がある。</p> <p>・販路拡大について、新分野への進出に消極的な企業が多く、販路拡大意欲を持っていても自社の強みなどがわかっていない企業が多い。また、販路を拡大したいが小規模企業のため営業するのが困難でホームページの作成も出来ないという中小企業も多い。</p> <p>・セミナーについて興味は持ってくれるものの参加する企業が少ない。</p> <p>・基礎調査を実施した企業のうち寒川町内に本社機能をもつ中小企業62社のうち33企業の経営者が60歳以上であったため、今後、事業承継の問題が深刻化する可能性がある。</p> <p>・町・商工会・地域金融機関において、事業承継問題に対する役割を決め、地域で円滑な事業承継に向けて取り組みを進める必要がある。</p> <p>・企業等が立地出来る広い場所がなく、空き店舗や不動産の情報が町に入ってきて来ないため、企業立地相談者へ提供する不動産情報が町にない。</p> <p>・創業希望者の発掘及び創業支援の周知方法を検討する必要がある。</p>

内部評価結果	■現状維持(計画どおり)	□要改善	□抜本的な見直し
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県等が実施している支援機関の取り組みなどを調査し、町内企業の課題解決に向けて企業ニーズにあった支援策を検討する。 ・販路拡大支援に伴い、魅力発信レポートについて、町ホームページでの周知だけではなく、別途企業マッチングに有効な手段等を検討する。 ・平成29年度から販路拡大事業補助金の補助対象を拡大することとし、展示会への出展料の他展示装飾品及びオプション備品代も補助対象とし、また、企業のホームページやPR動画の作成についても補助対象とする。 ・後継者及び若手経営者の経営力の向上を目的に平成29年度上半期に「さむかわ次世代経営者研究会」を発足する。 ・事業承継問題に取り組むため、地域支援機関(金融・商工会・行政等)の役割を決め、各機関へ協力してもらう必要があり、支援機関で組織するネットワーク協議会の立ち上げ等を検討する。 ・企業立地相談があった際に、町内の空き事業所等の情報を金融機関や不動産協会から情報を入手し、その情報を相談者に提供出来るような連絡体制を構築する。 ・創業者が安定的な経営を行えるように、特定創業支援事業として経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識を習得してもらう相談及びセミナーを実施する。 ・創業者の発掘に向けて、創業相談等を町が実施していることの周知を町内商店等の協力を得て、チラシ等で周知する。 ・創業者支援策として創業者支援利子補助金を平成29年度から実施し、また、創業希望者がターゲット市場を調査するためのマーケット分析や人口分析等の市場情報を平成29年度から相談窓口でデータ提供を実施する。 ・町の支援制度(中小企業活性化事業補助金等)の周知を行う。 		

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	観光推進事業		
戦略事業責任者	環境経済部長	作成責任者	産業振興課長
担当部課名	環境経済部産業振興課		
基本目標	基本目標2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります		
施策名	施策2 アピールポイントの発見・創出と発信力の強化		
目指すべき基本的方向	○本町の知名度を向上させ、新たな人の流れを生み出し、定住につなげるため、本町の「売り」となる魅力や特色ある地域資源を有効に活用した「まち」のイメージアップにつながる取り組みを実施するとともに、効果的なタウンセールスを展開するなど、情報発信力を強化します。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		508,000			
	決算(見込)額		483,160			

KPI (重要業績評価指標)	観光入込客数(万人)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		187	207	213			
		目標値	215	220	230	230	230

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要			
	観光振興推進事業	<p>①誘客キャンペーンノベルティ作成 県内外のイベントや観光キャンペーンで配布するノベルティを作成した。 ハンドミラー 550個</p> <p>②浜降祭支援 県無形民俗文化財である浜降祭の実行委員会に補助金を交付し、祭の運営を支援した。</p> <p>③神輿まつり支援 さむかわ神輿まつり実行委員会に対して補助金を交付するとともに、祭の運営を支援することで、町の魅力のPRと誘客を促進した。</p>			
	予算額	508,000	決算(見込)額	483,160	

取り組みの検証/内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	各イベント(彼岸花まつり、さむかわ神輿まつり、びっちより祭、みんなの花火)では多くの方に会場に足を運んでいただけただけのため、まちに賑わいが生まれた。観光入込客数については、目標値には届かなかったが、寒川神社への参拝客が増えたため、昨年より増加している。
取り組みの成果	<p>①県外キャンペーン等でノベルティとしてハンドミラーを配布した。寒川らしい品物とするためコロ坊と花のデザインを施したことで、花の町を印象づけることができた。</p> <p>②伝統ある祭を後世に伝承するとともに観光宣伝により観光客の誘客を図った。</p> <p>③寒川駅前公園に町内の保育園、幼稚園の子供たちに装飾をしてもらった段ボール神輿を展示したり、子供たちによる神輿の担ぎ体験やまつり囃子など、町の将来を担う多くの子供たちに祭に参加して楽しんで貰えた。また茅ヶ崎の浜まで行けなかった方にも町内で浜降祭を感じて頂くことができた。当日は、3,500の方が来場した。</p>
取り組みの課題	<p>①現在、ノベルティは、県外キャンペーンを中心に、パンフレットを受け取ってもらえるようノベルティとともに配布しているが、誘客に繋がる効果的な配布方法となっているのか検証が必要である。</p> <p>②浜降祭の会場である茅ヶ崎から寒川へ少しでも多くの方を迎え入れる方策の検討が必要である。</p> <p>③神輿まつりについては認知度が上がってきていると感じているが、交通規制や駐車場など反省を踏まえて改善していく必要がある。</p>

内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり) <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	①寒川らしいノベルティーを検討しながら、湘南・寒川町を訪れてもらえるよう、配布する場所、方法をさらに工夫し、効果的な誘客の増加に繋がられるよう検討していく。 ②観光客を寒川に引きつける、魅力となるものを探す。 ③神輿まつりを更に盛大に開催するためには、会場付近の住民や商店への協力・理解を求めていく必要があるため、各団体と連携をし準備を進めていく。

取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった <input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見	

取り組みの改善 (Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	タウンセールス推進事業		
戦略事業責任者	企画部長	作成責任者	広報戦略課長
担当部課名	企画部広報戦略課		
基本目標	基本目標2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります		
施策名	施策2 アピールポイントの発見・創出と発信力の強化		
目指すべき基本的方向	○本町の知名度を向上させ、新たな人の流れを生み出し、定住につなげるため、本町の「売り」となる魅力や特色ある地域資源を有効に活用した「まち」のイメージアップにつながる取り組みを実施するとともに、効果的なタウンセールスを展開するなど、情報発信力を強化します。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		7,485,000			
	決算(見込)額		7,484,400			

KPI (重要業績評価指標)	定住等促進に向けたプロモーション活動メニュー数(累計)(件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		0	—	方針策定			
		目標値	—	方針策定	4	6	7

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要			
	タウンセールス推進事業	定住人口と交流人口の増加に向けて、ターゲット分析や競合分析を行いながら効果的なプロモーション戦略の検討を行った。			
	予算額	7,485,000	決算(見込)額	7,484,400	

取り組みの検証/内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	寒川町を取り巻く移住に関する基礎調査として、内部環境及び外部環境(寒川町の地域資源、ターゲットの特性、寒川町及び近隣自治体の評価など)に関する調査分析を行い、効果的なプロモーション活動を行うための指針として寒川町プロモーション戦略及び同戦略アクションプランを策定した。		
取り組みの成果	基礎調査として、寒川町の人口移動の実態、町内居住者と町外居住者との寒川町の評価のギャップ、暮らしの場としての認知度の低さ、湘南・県央地区における寒川町のポジション、寒川町を評価する可能性(移住可能性)がある人の属性などが浮き彫りとなり、移住を促す上でのターゲットとその方針を整理することができた。		
取り組みの課題	戦略を策定する中で、戦略に位置づけた目標を実現するためには、次の2つが課題であることを整理した。 ①これまで、町民に向けた広報活動を展開してきたことから、町外に向けたPRの技術・ノウハウを有していない。 ②移住を促進する上では、行政としては認知・関心に関する情報発信を活動領域として展開することは可能であるが、実際に移住の実行レベルでは住まいに関する情報支援が必要不可欠で、不動産事業者等の民間事業者との連携が必要である。さらに、行政のみでは、情報発信力や拡散力にも限界があるため、企業や住民を巻き込んだプロモーション体制の構築が必要である。		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し

今後の取り組み	<p>前述の課題については、プロモーション戦略に位置づけた取り組む上で対応すべき項目であるため、その取り組み方針を決定し、その内容を次のとおり戦略に位置づけた。</p> <p>①PRに関する専門的な技術を確保するため、民間企業等で培われたPRに関する専門的な知識と豊富な業務経験を有する者を「寒川町マーケティングマネージャー」として登用する。 ②住まいに関する情報支援体制を確保するため、町不動産事業者などの民間事業者との連携体制を構築する。さらに、情報発信力や拡散力の強化を図るため、企業や住民を巻き込む仕掛け等についても企画検討する。</p>
---------	--

取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善 (Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

**寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み**

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業		
戦略事業責任者	健康子ども部長	作成責任者 子育て支援課長	作成年月日 平成29年5月9日
担当部課名	健康子ども部子育て支援課・保育青少年課／町民部町民安全課		
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります		
施策名	施策3 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実		
目指すべき基本的方向	○出会いのきっかけづくりなどにより結婚を支援するとともに、出生数の増加や結婚・出産を契機とした近隣市からの流入増加を図るため、出産や子育ての経済的負担や悩みの軽減、子育てと仕事が両立できる環境づくりなど、結婚から子育てまで切れ目ない支援を実施します。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		199,204,482			
	決算(見込)額		174,931,849			

KPI (重要業績評価指標)		基準値		実績値			
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
小児医療費及び妊婦健康診査費用に対する助成率(%)	基準値						
	H26	100	100	100			
	目標値		100	100	100	100	100
乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率(%)	基準値						
	H26	-	16	-			
	目標値		16	-	-	-	19
待機児童数(人)	基準値						
	H26	10	10	10			
	目標値		0	0	0	0	0
不育症治療費助成対象者の出産若しくは妊娠安定期に結びついた人数(累計)(人)	基準値						
	H26	0	0	0			
	目標値		2	4	6	8	10
3歳6ヶ月健診でう蝕のない児の割合(%)	基準値						
	H26	83.8	79.5	77.4			
	目標値		84	85	86	87	88
子育て世代包括支援センターにおける支援の必要性の高い妊婦への支援実施率(%)	基準値						
	H26	-		-			
	目標値		-	-	100	100	100
幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯の率(%)	基準値						
	H26	47.4	54.1	57.1			
	目標値		50	53	56	59	62

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要	予算額	決算(見込)額
	小児医療費助成事業	小児が病院等受診した際に支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成した。また、平成29年度からの小児医療費助成事業における通院に係る対象年齢の拡大に向けた準備を行った。(通院対象年齢小学6年生を中学3年生まで拡大)	150,000,000	141,116,873
	不育症治療費助成事業	少子化対策の充実を図るため、不育症に悩む夫婦に対して、治療費の一部を助成し経済的負担を軽減することで、出生率の向上を図る制度だが、事前相談はあったが、申請には至らなかった。	400,000	0
	特定不妊治療費助成事業	不妊治療費のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精及び顕微授精について、治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図った。	2,100,000	1,952,000
	母子保健事業	妊婦健康診査の公費負担額を増額し、妊婦の経済的負担の軽減を図った。	27,362,482	23,478,933
	う蝕予防対策事業	2歳児歯科健康診査と歯科保健指導(全員にブラッシング指導)と食育指導(子どものおやつと食事)を実施し、幼児及び保護者が適切な保健行動をとれるように支援した。また、妊娠期からの切れ目ない支援として、妊娠期(妊婦歯科健康診査、妊娠中の歯科保健指導)乳児期(親子のスキンシップとみがき直し指導)、幼児期(子どもの歯科相談)の歯科保健指導・食育指導を実施した。	1,437,000	1,382,543
	保育環境充実事業	・新規の認可保育所の新設はなかったが、一之宮愛児園において大規模修繕を行い、保育環境を整えることができた。 ・町内認可保育所4園全てにおいて、一時預かり事業を開始し、国・県交付金等を活用し園に対して補助金を交付できた。 ・園で入所児童を多く受入られるよう、面積要件、保育士配置基準等を満たす範囲で努力をしていただき、待機児童数は昨年度と同数となった。	17,905,000	7,001,500
	防災活動充実事業	・各保育施設での園児引き取り時間に併せ、パンフレットや防災用品配付及び子育て世代向けのDVDの上映を行い、啓発を行うとともに、アンケートを実施した。事業実施が不可能であった施設に対してはアンケートのみを実施し、各家庭における防災対策状況の把握をした。	0	0

取り組みの検証／内部評価(Check1)

<p>KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析</p>	<p>【子育て支援課】 ・小児医療費助成事業:達成 ・不育症治療費助成事業:未達成。相談はあったが申請には至らなかった。 ・母子保健事業:達成 ・う蝕予防対策事業:未達成。う蝕予防には、歯科健診のみでなく、良い生活習慣の確立が重要であることを定着させていく必要がある。 【保育・青少年課】 ・保育環境充実事業費:未達成。待機児童数は前年度と変わらなかったが、目標値を達成することはできなかった。 【町民安全課】 子育て家庭の防災アンケートを行った結果、247家庭のうち141家庭が食料に関して備蓄しているとの回答があった備蓄をしていない家庭のうち、半数以上が備蓄方法や量が分からないとの回答だったため、アルファ化米等の備蓄用食料に固執しなくてもよい、ローリングストック法等の普及が継続的に必要と考える。また、食糧備蓄に関しては、目標値の設定のとおり3%向上(全体比較では1.9%向上)が見られたが、他の防災備蓄に関しては、向上したのものもあれば、低下したのものもあり、結果として同率で維持している傾向なので、子育て家庭はもちろんのこと、家庭における防災対策に関して更なる推進を目指す必要があると考える。</p>
<p>取り組みの成果</p>	<p>【子育て支援課】 ・小児医療費助成事業:小児が病院等受診した際に支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成した。また、対象年齢の拡大に向けた準備が順調に進み平成29年度から拡大適用することができた。 ・不育症治療費助成事業:相談はあったが申請には至らなかった。 ・特定不妊治療費助成事業:38件の申請があり、交付決定し助成を行った。 ・母子保健事業:安心して妊娠・出産ができるよう、すべての妊娠届出者と転入者に妊婦健康診査費用補助券を発行し、健診受診に伴う経済的負担を軽減した。 ・う蝕予防対策事業:2歳児歯科健康診査の受診率は向上し、受診した母子すべてに歯科保健指導を実施できた。また、2歳児歯科健診を受診した平成25年4月以降生まれの3歳6か月児健診でのう蝕のない児の割合は81.4%で年間割合77.4%より高かった。 【保育・青少年課】 ・保育環境充実事業:一之宮愛児園の大規模修繕を行ったことにより、安全な保育環境を整えることができた。 【町民安全課】 自主防災組織等の訓練時等における一定の事業成果はあったと考えている。今回実施したアンケート結果を集計した結果、家庭での食糧備蓄等一部向上が見られた。</p>
<p>取り組みの課題</p>	<p>【子育て支援課】 ・小児医療費助成事業:安定した事業継続と制度周知を図る。 ・不育症治療費助成事業:不育症治療を検討する家庭への制度周知は専門医療機関を通じて行われているが、一般の方にも広く周知していくことで、不育相談に繋がる可能性があるため、引き続き周知を図る。 ・特定不妊治療費助成事業:毎年度一定の助成件数があり、事業の必要性は十分ある。 ・母子保健事業:安心して妊娠・出産できるよう定期的な健診受診を促すなどの支援と制度周知の継続を図る。 ・う蝕予防対策事業:妊娠期からの切れ目ない歯科保健対策を継続し、意識の底上げを図り、良い生活習慣の確立を支援することが必要。 【保育・青少年課】 ・保育環境充実事業:園舎の老朽化が激しいので、大規模修繕に対して補助をし、保育環境の充実を図る。 【町民安全課】 アンケートを実施した結果、平成27年度実施時より、家庭における防災対策について数値的に向上は見られたものの、十分だとは言えない結果となった。</p>
<p>内部評価結果</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>現状維持(計画どおり) <input type="checkbox"/>要改善 <input type="checkbox"/>抜本的な見直し </p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>【子育て支援課】 ・小児医療費助成事業:継続実施 ・不育症治療費助成事業:必要な時に対応できるよう備えることが重要であるので、継続実施する。 ・特定不妊治療費助成事業:継続実施 ・母子保健事業:継続実施 ・う蝕予防対策事業:継続実施。2歳児以降の食事の食べ方指導を強化する。 【保育・青少年課】 ・保育環境充実事業:待機児童解消に向けて、小規模保育事業、認定こども園等の新設に対して補助を行う。 【町民安全課】 これまでの子育て世代に関する防災・減災の取組をさらに拡充し自助・共助を町民とともに推進していくために、ローリングストック法などの普及を継続するとともに、さらに有効な手法を考えていく必要がある。</p>

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	家庭教育推進事業		
戦略事業責任者	教育次長	作成責任者	教育総務課長
担当部課名	教育委員会教育総務課・学校教育課		
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります		
施策名	施策4 学力の向上と家庭教育支援の充実		
目指すべき基本的方向	○子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、教育環境や教育内容の充実など学力向上に向けた学校教育のさらなる充実を図るとともに、家庭での学習習慣の醸成など家庭教育の充実を図り、学校・家庭・地域全体で子どもを育て見守る環境をつくります。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		823,000			
	決算(見込)額		822,720			

KPI (重要業績評価指標)	学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合・小学校(%)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		43.8	44.5	42.4			
		目標値	44	45	46	47	48
	学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合・中学校(%)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		60.8	48.1	53.8			
		目標値	61	62	63	64	65

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要			
	家庭教育推進事業	0歳から15歳までの子を持つ家庭に、家庭での教育の一助としてもらうため、発達段階に応じた子育てや家庭学習のポイントをまとめた冊子の作成・配布に向け、他市町村の事例収集や冊子構成等の検討を行った。			
	予算額	0		決算(見込)額	0
	家庭教育講座等開催事業	・絵本での子育てをテーマにした「ママパパのための絵本講座」実施 12/10(土)「わらべうたベビーマッサージと絵本でふれあい遊び」参加者:16家族(大人22名・子ども16名) 12/17(土)「絵本で子育て講演会」参加者:大人11名・子ども7名 ・父親の育児参画を促し、夫婦での子育てをテーマとした講座の実施 1/29(日)「パパママいっしょにニコニコ子育てライフ」参加者:7家族(大人14名・子ども8名)			
予算額	70,000		決算(見込)額	70,000	

	子ども読書ふれあい事業	<ul style="list-style-type: none"> ・0～2才児対象の「おひざにだっこのおはなし会」を毎月1回開催(年12回) ・未就学児対象の「おはなし会」を毎週1回開催(年49回) ・絵本、児童書、紙芝居の購入 		
		予算額	500,000	決算(見込)額
	家庭学習推進事業	学齢期における家庭での学習を推進するために、家庭学習推進啓発資料「家庭学習の手引き」を発行 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1・2年生版 ・小学校3・4年生版 ・小学校5・6年生版 ・中学校1年生版 ・中学校2年生版 ・中学校3年生版 ・特別支援学級版(ここで計上している予算額には含まれていません。) 		
		予算額	253,000	決算(見込)額

取り組みの検証／内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	平成28年度は、目標を達成できなかった。「家庭学習の手引き」を平成29年4月に児童・生徒に配布したため、平成29年度以降に効果が期待できる。
取り組みの成果	(家庭教育推進事業) 他市町村の事例等の情報を収集し、原案作成に向けて記載内容や配布方法等の検討を行った。 (家庭教育講座等開催事業) 子育て家庭を支援するため、家庭教育についての学習機会と親子でふれあえる場を提供できた。 (子ども読書ふれあい事業) 読み聞かせ事業を通じて、子どもと図書の出逢いの機会を提供できた。 (家庭学習推進事業) 「家庭学習の手引き」を平成29年4月に児童・生徒に配付したため、平成29年度以降の効果を注視していく。
取り組みの課題	(家庭教育推進事業) 冊子作成にあたっては、記載内容等を達成できない家庭に対して、不安を与えない工夫が必要。 (家庭教育講座等開催事業) 父親の参加を含め、引き続き参加しやすい講座形態の検討が必要。 (子ども読書ふれあい事業) 本との出会いの場を設け、事業を定着させるため継続したおはなし会の開催が必要。 平成29年4月に児童・生徒に配付したため、課題については今後洗い出していく。
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり) <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや家庭教育のポイントをまとめた効果的な冊子の作成、配布 ・家庭教育支援講座の実施 ・継続したおはなし会の実施及び図書の購入 ・「家庭学習の手引き」の活用状況の把握

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	学力向上推進事業		
戦略事業責任者	教育次長	作成責任者	学校教育課長
担当部課名	教育委員会教育総務課・学校教育課		
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります		
施策名	施策4 学力の向上と家庭教育支援の充実		
目指すべき基本的方向	○子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、教育環境や教育内容の充実など学力向上に向けた学校教育のさらなる充実を図るとともに、家庭での学習習慣の醸成など家庭教育の充実を図り、学校・家庭・地域全体で子どもを育て見守る環境をつくります。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		36,716,000			
	決算(見込)額		33,527,619			

KPI (重要業績評価指標)	基礎力定着度確認問題の正答率・小学校(%)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		77.1	71.8	72.9			
		目標値	80	80	80	80	80
	基礎力定着度確認問題の正答率・中学校(%)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		56.9	60.8	60.1			
		目標値	60	60	60	60	60

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要			
	教職員の資質向上事業	若手教員の指導を中心に、学校運営を行う校長・教頭の補佐および、今後大きく変わる学校教育、教職員の研修に関する先駆的な指導を行う教育フロンティア専門指導員の配置。(校長・教頭経験者より) ・小学校担当1名、中学校担当1名 計2名 ・週4日、学校勤務(指導員による授業参観後の指導助言による教職員の資質向上) ・町及び校内研修等における指導助言 ・初任者、若手教員、経験の少ない教員の授業力向上に向けた指導・助言および相談、支援 ・キャリア教育や社会とのつながりを意識した授業の企画や運営の補助			
		予算額	6,074,000円	決算(見込)額	5,756,970円
	少人数学習推進事業	・各学校に1名の非常勤講師を配置し、算数、数学等の教科を中心に少人数授業を実施した。学級を半分の人数に分け、15~20人ほどの少人数で授業を行うことで、活動の回数を増やすことができたり、質問等がしやすくなったり、個別の対応が進められつつある。 ・研究員部会において少人数学習の感想や意見を学校や児童・生徒にも聞くなどの状況把握した。また、それらの意見を分析し、より充実した授業展開ができるよう成果と課題をまとめた。			
	予算額	19,551,000円	決算(見込)額	18,090,249円	

	寒川にこにこ学習推進事業	学力には個人差があり授業における個別対応には限界がある。また塾へ通うことが難しい児童・生徒及び外国につながる児童・生徒の支援としてのニーズに応えるため、学校以外に学習の相談が出来る場を設け、地域の人材等を活用した学習会を行った。 ・実施にあたっては、教員OBや地域の方を講師に迎え、町民センターにおいて33回開催した。 ・下半期より、勉強に取り組むきっかけ作りや内容の拡充に向け、タブレットを導入した。	予算額	780,000円	決算(見込)額	360,000円
	中学校施設改修事業	・中学校の図書室に空調機の設置 ・中学校の普通教室に空調機を設置(平成29年度設置予定)するための実施設計	予算額	10,311,000円	決算(見込)額	9,320,400円

取り組みの検証／内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては、平成28年度は評価指数が達成されていないが、少しの伸びが見られる。 ・中学校においては、評価指数の目標値は達成している。 ・評価指標に反映されるには時間がかかる事業もあるが、各事業を実施することで教育内容の充実及び教職員の資質向上につながっている。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・フロンティア教育専門指導員2名の配置は、初任者をはじめ若手教員の育成に大変役立った。 ・少人数学習推進授業においては、各校において子どものきめ細かい指導を行うことができた。 ・寒川にこにこ学習推進事業では、塾等に行かせられないご家庭や外国につながる児童・生徒を初めとする子どもたちの家庭学習などの習慣づけを行うことができた。ボランティア講師の協力が有効であった。 ・児童・生徒の学習意欲の向上、学力向上のための基盤づくりとなった。
取り組みの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学習補充教員の人材確保が難しい。(雇用条件や教員経験年数等について) ・今後の取り組みに向けて、にこにこ学習会の担当職員における余裕がないなかで、他の事業との連携を検討する必要がある。
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり) <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学習補充教員の確保と学校組織との連携 ・にこにこ学習会と他の事業(未来塾)との連携及びあり方についての検討 ・教育フロンティア専門指導員による夏休みの教職員研修講座についての計画および検討 ・経験の少ない教員、臨時的任用職員等などの育成と資質向上に向けた研修のあり方検討 ・中学校の普通教室に空調機の設置(学習環境整備)

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

**寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み**

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	子育て応援環境整備事業		
戦略事業責任者	町民部長	作成責任者 協働文化推進課長	作成年月日 平成29年5月9日
担当部課名	町民部協働文化推進課／健康子ども部子育て支援課		
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります		
施策名	施策5 子育てを応援する地域社会の実現		
目指すべき基本的方向	○仕事と生活の調和を図り、子育てしやすい環境を実現するため、コミュニティや町内の企業などの地域社会が連携し、一丸となって子育てを応援する環境づくりを進めます。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		689,000			
	決算(見込)額		330,086			

KPI (重要業績評価指標)	さむかわ男女共同参画プラン(仕事と生活の調和)実施計画の各事業の年度別目標値達成率(%)	基準値	実績値				
		H25	H27	H28	H29	H30	H31
		100	100	100			
		目標値	100	100	100	100	100
	子育て支援に関する団体等への支援数(累計)(件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		0	1	3			
		目標値	2	4	6	8	10

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要			
	男女共同参画推進事業	第4次さむかわ男女共同参画プランの実施計画に定めた仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための環境づくりを行う事業(労働、子育て、介護に関する教室・講座の開催、情報提供、意識啓発、子育て家庭等への支援事業)を各事業担当課で実施した。 また、前年度実施事業について、各事業担当課の自己評価及び外部委員からなる男女共同参画推進協議会での評価を行い、課題・今後の方向性等を認識するとともに、翌年度事業計画に反映させた。			
		予算額	64,000	決算(見込)額	59,884
	地域子育て環境づくり支援事業	地域子育て支援を行うボランティア団体等の活動の立ち上げや地域の実情に応じた創意工夫のあるきめ細かな子育て支援活動に対する補助をおこなった。(上限30万円)			
		予算額	600,000	決算(見込)額	246,832

取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	<p>【協働文化推進課】 事業担当課からの実績報告では、継続して事業を実施することにより、目標値を達成している。</p> <p>【子育て支援課】 地域子育て環境づくり支援事業:達成には至らなかったが、2団体2事業に支援し、補助金を交付した。</p>
取り組みの成果	<p>【協働文化推進課】 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための環境づくりを行うことにより、子育て世代が安心して結婚、出産し、子育て等と仕事の両立ができる環境の整備を進めることができた。</p> <p>【子育て支援課】 地域子育て環境づくり支援事業:普段あまりできないことを親子で体験する機会を地域で設けるなど、支援した2団体において、それぞれの趣旨に即した活動を行うことができた。また、そのことを通じて、その団体の存在を知ってもらい、活動の和を広げることにつながった。</p>
取り組みの課題	<p>【協働文化推進課】 ワーク・ライフ・バランス推進のための環境づくりには、事業所や労働者に継続的にその考え方を周知していく必要がある。また、事業実施にあたっては、社会情勢等の状況を反映させていく必要があるが、労働者の実態が把握されていない。</p> <p>【子育て支援課】 地域子育て環境づくり支援事業:補助制度の認知度が低いことが考えられることから、効果的にPRしていくために、子育て支援を実施する団体の積極的な把握が必要である。</p>
内部評価結果	<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり) <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的な見直し </p>
今後の取り組み	<p>【協働文化推進課】 ・ワーク・ライフ・バランスの考え方の継続的な周知、講座・教室の内容等の工夫・見直し及び情報提供。 ・労働者の実態の把握。</p> <p>【子育て支援課】 ・地域子育て環境づくり支援事業:地域社会全体で子育てを支援していくための意識を高める啓発とともに、引き続き制度周知を行っていく。</p>

取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善 (Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	安心なまちづくり整備事業		
戦略事業責任者	町民部長	作成責任者 町民安全課長	作成年月日 平成29年5月9日
担当部課名	町民部町民安全課		
基本目標	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります		
施策名	施策6 さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実		
目指すべき基本的方向	○安心して暮らせるまちを実現するため、地域の防犯対策や子どもを見守る活動の充実などを町民との協働により進め、地域の防犯力の向上を図ります。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		29,518,000			
	決算(見込)額		27,889,915			

KPI (重要業績評価指標)	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数(件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		170	122	124			
		目標値	165	160	155	150	145

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要				
	防犯灯整備事業	夜間の犯罪などの抑制を図り、安心なまちづくりを推進するため、防犯灯設置の要望のあった箇所(57箇所)に可能な限り設置(52箇所)し、維持管理を行った。				
		予算額	21,515,000		決算(見込)額	20,280,259
	防犯対策推進事業	犯罪抑止を図るため、キャンペーンによる防犯に対する意識啓発、防犯アドバイザーによる町内全域のパトロールや講話、職員による青色回転灯装備車での町内走行、寒川中学校への防犯カメラ設置(1台)を行った。				
		予算額	3,628,000		決算(見込)額	3,246,456
	交番施設整備促進事業	寒川駅北口への交番設置に向けて、神奈川県警察本部、茅ヶ崎警察署と調整を行い、交番設置予定地の工事及び交番周辺整備工事を県の交番設置工事と調整しながら施工した。それに伴う移設元の寒川交番(一之宮)跡地の活用方法と南部地域の防犯力について地元自治会と調整を図った。				
		予算額	4,375,000		決算(見込)額	4,363,200

取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	町民からの要望のあった防犯灯設置箇所については、概ね設置でき、町民の安心・安全確保に努めることができた。 また、町内のパトロール等や寒川中学校への防犯カメラ設置で犯罪抑止力を高め、さらに、寒川町の玄関口である寒川駅前交番を移設することができ、寒川駅周辺の防犯力向上を図れた。		
取り組みの成果	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数(件)が減少し、目標値を達成した。		
取り組みの課題	目標値は達成しているが、依然として約3日に1件の割合で空き巣・自転車盗・ひったくりが発生しているため、キャンペーンの強化及び全職員での青色回転灯を装備した公用車での町内パトロールの徹底が必要である。		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	町内パトロールの強化、防犯アドバイザーによる講話、キャンペーンを行い、更なる防犯意識の高揚を図る。 また、要望に即した防犯灯及び防犯カメラの設置を行い、町民の安心・安全に寄与する。		

取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善 (Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

**寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み**

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	若者参画推進事業		
戦略事業責任者	町民部長	作成責任者	協働文化推進課長
担当部課名	町民部協働文化推進課／企画部企画政策課		
基本目標	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります		
施策名	施策7 まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進		
目指すべき基本的方向	○これまで進めてきた町民との協働の取り組みをさらに力強いものとし、地域の活性化を図り若い世代から選ばれる「まち」となるよう町の次代を担う若い世代の意見を町政運営に活かしていく仕組みを構築します。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		1,500,000	0	0	0
	決算(見込)額		1,063,000	0	0	0

KPI (重要業績評価指標)	若い世代による協働に向けた取り組み件数(累計)(件)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		1	1	2			
		目標値	1	2	3	4	5

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要			
	さむかわ若者会議促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・寒川青年会議所と共催で、「18歳選挙権わたしたちができること」を開催し、「どうしたら自分たちの住んでいるまちが楽しくなるか」についてワークショップを行った。 ・JAさがみ寒川町青壮年部、寒川青年会議所、寒川町商工会青年部と、町の若手職員が中心となり、若者のまちづくり参画促進コミュニティである「まちびとすたいる(さむかわ若者会議)」が設立された。 ・第5回寒川みんなの花火が、またそれに先立って花火まつりも、若い世代の団体が中心となった実行委員会により開催され、町が後援をした。 ・まちづくり懇談会で若者・子育て世代編を年間を通して開催(9回)し、合計9団体123名が参加した。 			
		予算額	0	決算(見込)額	0
	協働事業提案制度推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度協働事業として5事業を採択した(内継続事業2事業) ・27年度実施事業実績報告会を開催(4事業) ・まちづくり推進会議で、実績報告に対する選考委員会の意見の報告 ・中間報告会を開催し、提案団体の上半期での事業実施状況の報告を公開で行った。前段で、町民ボランティア団体と町内NPO団体との情報交換会も開催した。 			
		予算額	1,500,000	決算(見込)額	1,063,000
	さむかわ町民全体会議推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の事例収集、業者からの情報収集を行った。 ・CMS委託業者にアプリの企画書・見積書をもらい、アプリの内容や価格を確認した。また、広報統計担当に、CMSの更新スケジュールと、今後のフェイスブック、インスタグラム等の運用予定を確認した。 			
		予算額	0	決算(見込)額	0

取り組みの検証／内部評価 (Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	ワークショップと寒川みんなの花火の開催により、目標の2回を達成した。		
取り組みの成果	<p>(さむかわ若者会議促進事業)寒川青年会議所と共催のワークショップにより、コネクションの構築や若者との情報交換が図れた。「まちびとすたいる(さむかわ若者会議)」の設立がされた。まちづくり懇談会で9団体123名の若者と町長が懇談し、若い方の意見を集約できた。</p> <p>(協働事業提案制度推進事業)事業の選考にあたっては、提案団体による実施事業のプレゼンテーションを開催し、外部委員を主とした選考委員会により、開かれた選考ができた。町民ボランティア団体と町内NPO団体との情報交換会で、団体同士の情報共有が図れた。</p> <p>(さむかわ町民全体会議推進事業)町民全体会議の方向性としては、調査、検討による課題を踏まえ、町民ニーズ把握では新たに始まる「町政モニター制度」を活用し、提案や意見を述べる場については、若い世代によるまちづくり検討コミュニティを主体として、フェイスブック上で立ち上げる方向性で進めていくことを確認できた。</p>		
取り組みの課題	<p>(さむかわ若者会議促進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単なる地域活性のためのイベント実施だけでなく、今後の方向性でもある、若者のまちづくりに対する意識醸成や若者の「想い」を踏まえた政策提言などの取り組みを、いかに具現化していくかが最重要課題。 ・多くの若い世代の掘り起こしをどのように進めていけばよいか検討が必要。 ・1つのコミュニティの創設が図られたが、今後の若い世代におけるまちづくり活動への参画促進に向けた有効的な支援策の構築が必要。 <p>(協働事業提案制度推進事業)</p> <p>提案団体が選考委員会での意見を反映させて、事業協力課とともに事業を実施すること。今後は、事前に事業協力課と調整した事業計画の策定が求められる。町から提案できる行政提案型事業があれば働きかけをすること。協働事業の裾野を広げるために、町民ボランティア団体、町内NPO団体の定期的な情報交換や、町からの情報提供が必要である。</p> <p>(さむかわ町民全体会議推進事業)アプリの構築に関しては、効果と比較して、開発費用、運用委託費が非常に大きい。自治体主体の運用事例に課題面が多く、運用事例が極めて少ない。発言者同士のつながりは、誹謗中傷などが発生する危険性がある。</p>		
内部評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	<p>(さむかわ若者会議促進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちびとすたいる」への関わりは、単に1人の若者としての参画ではあるものの、町職員としての立場も常に自覚しながら、議論等が建設的に行われ、有意義な取り組みにつながるよう心がけていく。 ・「まちびとすたいる」やまちづくり懇談会の場等で、まちづくりに参画しやすい環境づくりに向けた行政支援について、その意向を把握していく。また、その意向把握にもとづいた行政支援について具現化に努める。 <p>(協働事業提案制度推進事業)</p> <p>選考委員会、提案団体、事業協力課等の意見を踏まえ、制度の見直しを図る。行政提案型モデル事業について検討する。町民ボランティア団体、町内NPO団体の情報交換会を毎年開催する。</p> <p>(さむかわ町民全体会議推進事業)「町民全体会議」の方向性は、民が主体となりフェイスブック上で立ち上げることで進めていく。また、「さむかわ若者会議(まちびとすたいる)」等の民間団体に、このことを提案させていただく。発言者同士のつながりは、町民全体会議で、町民ニーズの把握は、町政モニター制度を活用する。</p>		

取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善 (Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成28年度の取り組み

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	公共交通環境整備事業		
戦略事業責任者	都市建設部長	作成責任者	都市計画課長
担当部課名	都市建設部都市計画課		
基本目標	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります		
施策名	施策8 より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備		
目指すべき基本的方向	○今後の高齢化の進展を見据えながら、すべての人が安心して快適に暮らせるよう、公共交通の利便性の向上を図り、より快適な交通環境を実現します。		

事業費の状況	単位:円	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額		12,600,000			
	決算(見込)額		11,282,350			

KPI (重要業績評価指標)	寒川町内の駅バリアフリー対策率(%) (バリアフリー化済駅数/全駅数)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
		66.6	66.6	66.6			
	目標値	66.6	66.6	66.6	100		
	コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数(人/日)	基準値	実績値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
(平日)207		121	129				
目標値	113	134	155	175	196		

取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要			
	公共交通充実促進事業	<p>①寒川町内で、バリアフリー化が図られていない駅は3駅(寒川駅・宮山駅・倉見駅)中、倉見駅のみである。高齢化が進む中、誰もが利用しやすく、便利で安心して駅を利用できるよう、エレベーターの設置や多機能トイレを整備し、駅施設の利便性・安全性向上を図る必要があることから、事業実施主体であるJRと適宜協議を行った。</p> <p>②平成27年10月から土・日曜日の運行を開始。コミュニティバス「もくせい号」は、少子高齢化等の社会的背景や住民ニーズ等を受けて、町内の交通不便地域の解消や交通弱者の機動性の確保等、移動支援が必要な住民のために運行している。</p>			
	予算額	12,600,000	決算(見込)額	11,282,350	

取り組みの検証/内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	<p>①事業実施主体であるJRにおける倉見駅バリアフリー化完了までの施工等スケジュールは、H28調査設計、H29詳細設計、H30工事であるため、バリアフリー化済駅数は変わっていない。</p> <p>②土日運行を開始して一年半が経過したところであるが、イベント等による啓発活動やパンフレットの配布等での周知により、わずかではあるが利用者が伸びている。</p>
取り組みの成果	<p>①JRと適宜協議を行うことで、おおむね予定通りバリアフリー化に向け準備を進めることができた。</p> <p>②平日利用者207人/日に対して、これまで少なかった土日利用者が増加し、129人/日に快適な交通環境を実現できている。</p>

取り組みの課題	①JRより、倉見駅バリアフリー化完了までのスケジュールが遅れているとの報告があった。 ②利用者増を図るため、引き続き広報による毎月の利用状況報告、イベント等による啓発活動や、パンフレットの配布等を行っていくことが必要であるが、今後は新たな方法による利用促進策を随時模索し実行していくことが重要である。また、運行の効率化やサービス水準向上と運行形態の見直し等検討する必要がある。		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	①JRに倉見駅バリアフリー化の進捗状況を確認するとともに、当初のスケジュール通り設計や工事等を早期に行うよう要望する。 ②平成27年10月から住民ニーズの高かった土・日曜日の運行の実施により利便性の向上を図ったが、事業推進にあたっては、町・交通事業者・住民がそれぞれの役割を担うことが重要であることから、地域公共交通会議の中で定期的にPDCAサイクルに基づいて検討する必要がある。また、利用促進策として、広報において毎月行っている利用状況報告のほか、利用者にとって有益な情報を掲載する。		

取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	<input type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当ではない
外部委員会からの意見		

取り組みの改善 (Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	
------------------------	--